

1. 評価対象事務事業		シート作成日	平成25年7月14日
事業名	火災等災害活動事業	担当課・係名	消防署・国府分署
総合計画実施計画事業 (認定番号・事業名)	—	事業番号	1
行革大綱実施計画事業 (細目コード・事業名)	—	事業開始年度	—

2. 事業の概要

目的 (何のために)	火災等の災害に出動し被害の軽減を図るとともに、災害現場で必要とする資機材の点検・整備を実施				
対象 (誰を・何を)	大磯町民				
内容	火災時の消火活動及び警戒活動等に職員が2交替24時間体制で対応 災害現場で使用する、資機材の点検・整備				
根拠法令・条例等	消防法・消防組織法				
執行体制	<input type="checkbox"/> 町職員実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託あり <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> その他				
	単位	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算見込)	平成25年度 (予算)	
事業費	直接事業費 (a)	千円	1,247	979	586
	国庫支出金	千円			
	県支出金	千円			
	起債	千円			
	その他	千円			
	一般財源	千円	1,247	979	586
	職員人数 (概算職員数)	人			3.85
	人件費計 (b)	千円			22,607
総事業費 (a)+(b)	千円	1,247	979	23,193	
事業費内訳 H 25 年度	需用費：360千円 役務費：206千円 負担金補助及び交付金：20千円				

3. 指標値の推移

各種指標の実績と見込み、目標 (指標名)		単位	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (実績値)	平成25年度 (見込み又は計画値)
対象指標 (対象者数等)	① 総出動件数	件	480	424	460
	②	件			
活動指標 (活動量)	① 火災件数	件	5	16	10
	② その他出動	件	475	408	450
成果指標 (達成度等)	① 火災件数	件	5	16	10
	② その他出動	件	475	408	450

4. 事務事業の評価

妥当性	・実施主体は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 変更の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 火災等災害において被害を最小限に止めている。老朽化した災害活動資機材の整備が必要である 消防署で円滑に事業を遂行している。また事業の性質上、消防署が実施主体となるのは妥当と考える。
	・実施手段は妥当か	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> おおむね妥当 <input type="checkbox"/> 改善の必要あり <input type="checkbox"/> その他 理由 火災等災害において被害を最小限に止めている。
成果	・意図した成果が得られているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> おおむね得られている <input type="checkbox"/> 得られていない <input type="checkbox"/> その他 理由 火災等災害が発生しても最小限の被害に止めている。
	・コストに対して効率的か	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的 <input type="checkbox"/> おおむね効率的 <input type="checkbox"/> 非効率 <input type="checkbox"/> その他 理由 必要最低限の資機材で活動している。
効率性	・コストの削減等を図ったか	<input type="checkbox"/> 図った <input type="checkbox"/> 図られていない <input checked="" type="checkbox"/> 図る余地は無い <input type="checkbox"/> その他 理由 火災等、災害活動を行うため必要資機材の点検・整備は必要である。
	担当課による評価	<input checked="" type="checkbox"/> A 妥当性、成果、効率性はおおむね良いが、改善の余地がある <input type="checkbox"/> B 事業の一部見直しが必要 <input type="checkbox"/> C 事業の抜本的な見直しが必要 <input type="checkbox"/> D 事業継続の必要性が低い（休止・廃止）
		評価理由 老朽化した資機材の整備が遅れているが、おおむね良好である。

5. 改革・改善の方向性（平成 26 年度以降）

① 改革・改善への取り組み	老朽化した資機材整備を計画的に更新する。
② 平成26年度に着手する事項	老朽化及び複雑多様化する災害対応のための資機材の整備。
③ その他（課題、調整事項等）	毎年度老朽化した資機材を更新し整備するための予算確保。

6. 平成26年度事業への取り組み状況（改善内容等）

災害現場で必要とする資機材を計画的に更新するとともに、点検・整備を実施する。
--